



ラジオパーソナリティー、洞爺湖有珠山火山マイスター、結婚式やイベントの司会、小物作家などいろいろな顔を持つ荒町さん。



地域おこし協力隊が
出会った素敵な人紹介

ジオの恵みの活用と
減災への知恵を伝える

荒町 美紀さん
(温4区)

出身は留寿都村で、結婚を機に洞爺湖温泉へ移住してきて23年。自分たちが楽しいと思っただけは皆も楽しいと信じ「やったことがなくてもやってみよう」と仕事を楽しむことをご主人と二人三脚でやってきました。

子育て真っ只中の2000年の有珠山噴火の時には、自宅裏の金比羅火口からの熱泥流で家を失い、避難所生活を余儀なくされました。

当時災害FM放送「FMレイクトピア」が立ち上がり、興味を持った荒町さんは、自分にもできるかもしれない「やってみたい！」と応募。同放送のラジオのパーソナリティーを務めることになりました。

「家は失いましたが、その時感じたことからできる防災があるはず」。被災した立場から伝えたい」と2014年に洞爺湖有珠山火山マイスターの認定審査に見事合格。「もっと地域の人たち、子どもたちにもジオパークのことを知ってもらいたい」と有珠山の自然や火山の恵みの素晴らしさを自分の体験を交えながら伝える活動をしています。

その一つとして現在Wi-Fi radioでラジオパーソナリティーを務めていて、荒町さんたちが行っているジオパークについての普及啓発活動や火山・防災情報の発信などの活動が、複数のメディアで注目されています。

「2000年の有珠山噴火当時、自宅裏の山が有珠の外輪とは知らず、山のことも火山の知識もありませんでした。そんな経験も交えながら今後地域との語り部として、町民向けの勉強会や活性化に向けて活動を続けていきたい」と荒町さんは語ります。

(宮本 好)



今月のワンショット

洞爺湖温泉小学校の年末恒例もちつき集会

東奔西走

明けましておめでとうございます。町民の皆さんもフレッシュな気持ちで新年を迎えたことと思います。

新しい年の幕開けと同時に私の役場人生も残り少なくなり、ゴール目前となりました。

60歳といっても人生を語る歳でもなく、まだまだ何かに向かっていくものかもしれないと思ってみたりしますが……。残り3カ月の短い期間ですがどうぞよろしくお願いいたします。(H.O)

人口と世帯の動き11月30日現在(先月比)	
男	4,274人 (△12)
女	4,924人 (△19)
計	9,198人 (△31)
世帯	4,982世帯 (△25)